

## 令和2年度（大阪市立長谷川羽曳野学園）事業報告書

### 施設概要

施設名	大阪市立長谷川羽曳野学園
所在地	大阪府柏原市円明町2-30
施設規模	定員40名
主な施設	
・・・	

### 指定管理者

団体名	社会福祉法人 みおつくし福祉会
本店所在地	大阪市天王寺区東高津12-10
代表者	理事長 久保 直也
指定期間	平成31年4月1日から令和9年3月31日
報告対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
担当者	
連絡先	06-6765-5611
・・・	

### 1 指定管理業務の実施状況

<p>①管理運営方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・運営理念・・・学園児童だけを対象とする大阪市立長谷川小中学校が隣接されており、虐待体験や発達の、情緒的な特性等、様々な要因から家庭や学校あるいは施設で不適応を起し、その結果地域での社会生活が困難になった子どもたちが入所する心理治療機能を持った施設を目指す。</li><li>・職員理念・・・社会的養護の砦として、子どもに寄り添い自立を促し見守り続けます。</li><li>・施設目標・・・子どもへの保障4箇条<ol style="list-style-type: none"><li>1. 安心・安全で安定した生活が遅れる施設</li><li>2. 自分を出せて、自分を見つけることのできる施設</li><li>3. 一人ひとりのテーマ達成に向け、職員が寄り添ってくれる施設</li><li>4. いつまでの何らかの形で関わってくれる施設</li></ol></li><li>・職員の実践目標・・・5箇条</li></ul>
--

1. 施設入所に至るケースであることをしっかり受け止め理解します  
子どもひとりひとりの尊厳を認め、個人的特性だけでなく、それまでの生活やこれからの生活にも視野を拡げたケース全体の理解に努めます。
2. 子ども一人ひとりに寄り添いよく観て目標を掲げ、より適切な支援を実践し続けます  
それぞれの子どもに個性や違いがあることを認識し、科学的な根拠に基づいた、よりふさわしい支援を目指し、絶えず勉強し寄り添いながら考え、実践していきます。
3. 生活そのものが治療でもあることを意識します  
生活する子どもたちが、安心して安定的に暮らせる環境を基盤に、常にここで生活する人々の関係による作用＝『育ち合い』（癒され・充たされ・自ら受け容れ頑張れる）を意識して取り組んでいきます。
4. 職員全員がチーム実践で活動します  
『総合環境療法』という立場で直接支援職員（児童指導員・保育士）はもとより、併設の学校教員、セラピスト（心理療法士）、医師、看護師、栄養士、調理員、事務員が皆で協力し合い一人ひとりの子どもの支援目標を達成できるよう一丸となって努めます。
5. 子どもに関係のある方々との連繫を欠かしません  
子どもにとっての保護者を中心に、親族家族との繋がりも大切に考えます。その他、子どもを取り巻く人々（地域・関係諸機関や諸団体等々）に対しても連繫し、バランスよく子どもの将来も見守り続けられるように取り組みます。

## ②職員配置状況

- ・職員配置基準に基づき、施設長、医師、セラピスト、指導員、保育士、事務員、調理員、そして栄養士を配置して運営します。
- ・3.5：1の職員体制で、各加算職員も配置できるようになりました。
- ・在籍児童数と比較すれば他の施設よりも職員が多かったが、児童と実践を重ねながら、知識は勿論のこと、リスクの高い様々な児童やあらゆる場面に遭遇しても対応できるスキルを身に付けられるよう、計画的に職員の育成に取り組みました。

## ③関係機関との連携状況等

- ・大阪市こども相談センター、大阪市南部子ども相談センターとは、日頃から連携を密にして意思疎通を図り、入所児童それぞれが持つ

課題や問題点への支援と治療を行なっています。

- ・長谷川小中学校については、児童養護施設から児童心理治療施設への施設種別変更に対する理解を得るための活動のほか、入所児童の特性に対する勉強会を開催した。日々の子どもの様子については、担任教員と生活職員との間で連絡を取り合い、小学校・中学校それぞれとの連携は、月1回の連絡会にて情報交換を行なっています。
- ・柏原市の犯罪や非行の防止及び構成保護活動である『社会を明るくする運動』へも推進委員として参加し、地域との関わりを少しずつであるが広げています。

#### ④維持管理に係る事項

法定点検等：大阪市と指定管理施設における協定書に基づき、以下の点検等を実施しました。

項	項目内容	業者	点検時期
①	消防設備 非常通報装置119番 を含む	エービーシー防災株式会社 〒554-0021 大阪市此花区春日出北1-9-9	夏・冬
②	非常通報装置 110番	大阪ガスセキュリティーサー ビス 〒554-0021 大阪市淀川区十三元町3-6-35	年1回
③	貯湯槽清掃	(株)日本サーモエナー関西支 社 〒590-0952 堺市堺区市之町東5-2-11	夏
④	公共建築物	シバタ建築事務所 〒631-0041 奈良市学園大和町4丁目146	冬
⑤	ボイラー設備	(株)日本サーモエナー関西支 社 〒590-0952 堺市堺区市之町東5-2-11	夏・冬
⑥	自家用電気工作物	(株)電研エンジニアリング 〒570-0066 守口市梅園町8-1	毎月(11月 除く)+11月 年次点検
⑦	監視カメラ	株式会社サンノーベル	3月

		〒550-0012 大阪市西区立売堀1-3-13 第三富士ビル4階	
⑧	エレベーター	フジテック株式会社 近畿総 括本部 〒567-8510 茨木市庄1-28-10	毎月
⑨	貯水槽清掃	エスク株式会社 〒574-0077 大東市三箇4-18-18	夏
⑩	ガスヒーポン設備	(株)リビングメンテサービス 北東 〒578-0921 東大阪市水走3-9-21	保守契約 令和2年4月 ～
⑪	簡易専用水道	エスク株式会社 〒574-0077 大東市三箇4-18-18	冬
<p>⑤緊急時対応 法人内の児童施設のマニュアルをもとに、学園独自のマニュアルを作成しています。</p>			

## 2 利用状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の入所者数は13名。 (家庭から7名、他施設から5名、里親から1名。)</li> <li>・年間退所者数は2名。(家庭引き取り2名。)</li> <li>・入所児童の年齢構成(令和3年3月31日現在) 在籍児童数27名、短大生1名、高校生3名、中学生8名、小学生15名。</li> <li>・平均初日在籍数: 20.8名(少数第2位四捨五入)</li> </ul>
---

## 3 実施事業・自主事業

### ① 生活・指導援助

40名定員、男女比は2：1程度を目指し、男女別のフロアで生活をしている。職員体制は男女ともに5～6名を基本としています。特性により個々の関わりが必要な子どもが多く、担当フロアの職員だけでなく、SVを中心として学園職員全体で連携しながら支援しています。

職員の実践目標5箇条にあるように、まずは子どもが施設入所に至った経緯や退園後の生活をいかに描くか、職員それぞれが子どもたちの背景の把握に努めます。その上で、ひとりひとりの子どもにどう寄り添っていくか、成長や自立のために何が必要かを考え、子どもに合った目標を掲げ支援します。子どもたちはそれぞれに個性があり、また特性があります。成長の速度もそれぞれです。早すぎず遅すぎず、子どもたちのペースを守りながらも、掲げた目標に向かって歩めるよう、職員は寄り添い見守りを続けていきます。また小学生から高校生までの幅広い年齢層の集団の中で、子どもたち同士は生活をともにしながら、それぞれに刺激を受け合い、互いを認め合える関係づくりを目指します。まずは職員と子どもの『個と個の関係』から出発し、次第に子どもと子ども、職員と子ども集団、職員集団と子ども集団といったような輪が広がり、つながりを持つ集団へと発展できるよう、支援します。

そのためには、子どもたちが暮らす環境そのものが安定できるよう、職員集団の結束が必要となってきます。子どもだけでなく、職員同士もさまざまな職種が集まって子どもたちの支援にあたっています。直接子どもたちの日々のケアをする児童指導員や保育士だけでなく、心のケアを専門とするセラピスト、心身のケアを専門とする医師や看護師、成長に欠かせない食生活を守る栄養士や調理員、そして施設全体の運営を図る事務員といった、さまざまな職業集団で成り立っています。同じフロア、同じ職種同士といった個のつながりだけでなく、職種を越えてチームとして協働していけるよう、それぞれの専門性を生かしていくことを念頭に置いています。

### ②学校との連携

小中学生に限りませんが、当学園の子どもたちだけが通う、独立した大阪市立の学校が設置されているという特殊性を持っています。

学園に入所しているほとんどの子どもたちは、さまざまな理由から不登校を経験していることから、学ぶという経験も少なく、学力も学年相応とは言えません。また些細なことをきっかけにトラブルに発展

しやすく、情緒的にも不安定な子どもたちが多いです。そのため、日常的に学校と学園で情報共有を図り、対応策を講じています。

このほか、学校の先生向けに学園のセラピストが講師役となり、学園に入所してくる子どもたちの特性、対応策などを話す機会を作っています。

高校生に関しては、支援学校・一般高等学校に進学している。こちらからも、日ごろから連絡を取り合い、情報共有や方針を共有しています。

### ③性教育

当学園には幅広い年齢層の子どもが入所しており、その中には境界線の薄い家庭で育った子、性的虐待の被害を受けた子、さらには知的にハンディを抱えた子が多く存在します。個別で対応していくこともさることながら、学園内で『はぐくみの会（性教育委員会）』を立ち上げ、小学生・中学生・高校生と、それぞれの年齢層に合わせた学習内容のカリキュラムを検討し、1年間通して計画的にプログラムを実施している。内容としては、男女のからだの違い、気持ちの違い、いいタッチと悪いタッチ、生命の大切さなどを実施しています。

このほか、学園内で性問題が発生したときの対応の仕方のマニュアル、『緊急対応マニュアル』と作成し、取り扱い方の勉強会を職員間で行なっています。

### ④心理治療

入所する理由は子どもそれぞれによって違いはあるものの、背景には虐待体験を抱えている子どもがほとんどです。虐待を受けた子どもは、心身の安心や安全が守られていない環境下で育ってきています。そのため安心感が十分に持てず、他者との信頼関係が構築しづらいことが特徴です。刺激に対しての耐性が弱く、些細なことがきっかけに激昂したり、気持ちの落ち込みが見られたりと、感情のコントロールも困難です。さらに脳や身体の発達にも影響を及ぼし、遅れを生じさせます。

長谷川羽曳野学園では、入所している子どもたち全員にセラピーと呼んでいる個別の心理療法の時間を設けています。週1回、50分という枠組みの中、セラピストと1対1の時間を過ごしながら、まずは信頼関係の構築、安心感の体得を目指しています。

虐待体験を抱えた子どもたちは、さまざまな面で傷ついています。

多くの子どもたちはトラウマを抱え、生きづらさを抱えながら日々を送っています。セラピーでは、子どもたちが表現することをセラピストがきちんと受け止め、共感し、共有することを大切にしています。必要に応じて、個別のプログラムも実施していくことも検討しています。

#### ⑤食事

子どもたちの心身の成長に欠かせない日々の食事は、栄養士が献立を考え、調理員が調理したものを子どもたちに供しています。最近では、何らかのアレルギーに罹患している子どもも多いためその対応や、病気に罹患したときの食事対応もしています。

日々の食事には、季節の食材や行事にちなんだ献立も取り入れています。これまで食べたことがない食材や、見慣れない食材なども積極的に取り入れ、楽しみを見出せるよう工夫を凝らしています。また、子どもたちの誕生日には“お誕生日メニュー”として、その日誕生日の子どもが食べたいメニューを事前に聞き、夕食時にみんなで一緒に食べています。

また食中毒予防の講習会にも参加し、衛生管理についての意識を高め、安心安全に食事の提供ができるよう努めています。

#### 4 収支決算状況

収入：措置費収入	218,597,515円	
その他の事業収益	22,107,930円	
経常経費寄附金収益	656,930円	合計241,362,375円
支出：人件費	163,518,273円	
事業費	32,617,254円	
事務費	14,989,126円	
減価償却費	1,590,230円	合計212,714,883円

#### 5 その他

##### ① 研修等実地状況

法人で実施する人権研修、関係機関が主催する研修に参加し、職員は支援に対する基礎知識や援助技術を習得しています。このほか、学園独自に消防設備点検業者と連携して防火訓練を実施し、非常事態に備えています。

② 実習生の受入れ

実習生の受入れは、今後の保育、社会福祉に関わる後輩の育成のみならず、職員の現任訓練にもなります。令和2年度は保育士養成校6校、社会福祉士養成校1校から依頼があり、16名の実習生の受け入れを行っています。次年度以降も積極的に受入れていきます。

③ 個人情報の取り扱い

- ・ 児童、保護者に関する個人情報及び業務に関わる情報は施設からの持ち出しを禁止します。
- ・ ケース記録は鍵のかかるロッカーで保管します。
- ・ 業務用パソコンはパスワードで管理するとともに、業務用データ機器の持ち出しは禁止します。
- ・ 個人情報保護に関する基本方針を事務所に掲示しています。

④ 苦情解決状況

日々の児童との会話の中や、意見箱の設置等で、児童の要望や意見を把握するとともに、苦情申出窓口の掲示（苦情解決責任者・第三者委員など）をしています。

苦情解決第三者委員会は年2回開催。令和2年度における苦情は、1件です。

上記のとおり報告します。

指定管理者所在地	大阪市天王寺区東高津町 12-10
商号または名称	社会福祉法人みおつくし福祉会
代表者氏名	理事長 久保 直也